

吹く風にも春のおとずれを感じられる今日の佳き日。この学び舎を巣立ってゆかれる三十八期生みなさま、ご卒業おめでとうございます。在校生代表としてお祝い申し上げます。

先輩方は卒業式当日を迎えて今どのようなお気持ちですか。小南を巣立つことを名残惜しく思っているのでしょうか。それとも卒業後の進路を思い心躍っているのでしょうか。私は先輩方の晴れやかな表情を見て後輩として誇らしく思う一方で、本当に卒業されてしまうのだという寂しさを感じています。

先輩方には部活動や行事など本当に多くの場面で大変お世話になりました。私はそのなかでも公孫樹祭で一、二年生を引っ張ってくださったことが印象的でした。先輩方も私たちと同じように初めて行う全学年での公孫樹祭であるにも関わらず不安そうなそぶりを一切見せずに、オープニングセレモニーなど楽しむ時にはおもしろくみんなを盛り上げ、準備段階のみんなの気を引き締めなければならない時にはビシッと決めてくださいました。また、公孫樹祭実行委員の私が公孫樹祭前日に校内装飾を行っていた時のことです。その装飾は大がかりなもので人手が足りず、焦りながら作業をしていました。するとたまたまそこを通りかかった係でもない面識もない三年生が見かねて作業を手伝ってくださり無事完成させることができました。そのようにいつも一、二年生に手を差しのべ鼓舞していただきました。最初で最後の公孫樹祭を楽しもうと全力で「青春」している先輩方の姿はとてまにかっこよかったです。

卒業生の皆さん、本当にこれまでありがとうございました。いつも優しく時には率直な意見を言ってくださる先輩方が卒業されると思うと心細くなります。ですが、これまで先輩方が守ってこられた小南の伝統を守りさらに発展させるため先輩方に負けないよう頑張ります。

本日、卒業の日を迎えられる先輩方は、希望と夢を抱いて新しい世界に羽ばたこうとしていらっしゃいます。その道は決して簡単なものではないと思います。しかし、優しく、強い先輩方ならば小平南高校で培ったことを生かして乗り越えてゆけると信じています。

最後になりましたがご卒業されます先輩方のより一層のご活躍とご健康をお祈り申し上げます送辞と致します。

令和五年 三月八日

在校生代表